

貴重な植物の保護に努力され、その結果は昭和32年、東京大学の退官記念として出版された「植物文化財」にまとめられています。また日本自然保護協会の設立に尽力されると同時に、尾瀬原湿原の保存、日光杉並木の保護などに大きな成果をあげられました。

永年にわたり地方の植物学者の指導にあたと共に、植物友の会会長や武蔵野文化協会理事長を長くつとめ、また多くの一般向の著書を出すなどとして、植物分類学の普及に努力されてきました。先生の晩年の活動は殆んどこれに費されています。自然をこよなく愛された気持が、次第に先生をこのような活動に導いたのだらうと思います。ここに先生の御業績をしのびつつ、謹んで御冥福を御祈り申し上げます。 (山崎 敬)

---

□飯沼愼齋生誕二百年記念会誌編集委員会(編)：飯沼愼齋 513頁。1984。飯沼愼齋生誕二百年記念事業会。はじめに8葉にわたる23図の図説がある。第1図はこのたび見出された愼齋翁の写真による肖像であり、今まで疑義のあったものとは異なり真正正銘の愼齋像である。この他の図版は記念碑、平林荘、関連洋書、愼齋の図書、標本、手書きの図及び墨書である。「飯沼愼齋の生涯」の記事につづき、記念論文はI. 飯沼愼齋と植物学(12編)、II. 飯沼愼齋と蘭学医学(3編)、III. 飯沼愼齋と本草(4編)、IV. 飯沼愼齋と化学(2編)、V. 飯沼愼齋と人(6編)、ついで資料編には著作目録や腊葉目録、関連家系図、年譜と充実している。この書の出版への努力が多くの新資料の発見、新しい研究を生んだ。この書の出版により、今後の新資料の発見、新研究が期待される。執筆者及び、記念事業会を推進された愼齋研究会の諸氏に感謝の念を捧げたい。飯沼愼齋生誕二百年記念については、すでに本誌59巻3号96頁に報告した。予定の如く本年5月27日、大垣市文化会館において行われた記念式には約140名が出席、盛大であった。なお式典会場外では5月26日から6月3日にわたり、大垣市と市教育委員会主催の「飯沼愼齋展」が開かれ、貴重な資料150点が出品された。またこの機会に飯沼愼齋解剖之地碑、飯沼愼齋邸跡碑が本年完成され、除幕式が行われたことはめでたい。記念事業会の募金は464件、総額6,660,000円、募金の応募者には本書が式典で手渡され、又は後に郵送されたが、本書を新たに求められたい方は残部若干を1冊送料共6,000円で郵送するとのことである。〒502 岐阜市三田洞東 5-6-1 岐阜薬科大学内 愼齋研究会(電話 0582-37-3931)に連絡されたい。(木村陽二郎)